

# チーム

東中学校  
女子バレーボール部通信  
NO. 182号  
9月24日(火)

## 課題解決に向けて…

“もっとユニフォームを着るということに責任をもってほしい”

“ユニフォームを着る誇りを感じてほしい”

(「チーム」181号より)

大会前にみんなに投げかけた言葉です。『ハーベストカップ』を終えた今、2日間を振り返ってみて、上に挙げたことを常に心にとめて過ごすことができたでしょうか。結果だけを見ると、満足のいく結果を得ることができたと思います。特に最後の水野中との一戦は、これまでで一番

“粘り”を感じる戦いでした。そういった点については、素直に喜ばばいいし、次へのやる気・希望につながる収穫のある2日間でした。



しかし、個人的な部分や細かい点を見ていくと、課題がたくさん見つかりました。技術面だけを見ても、

○サーブカット      ○前後左右へのレシーブ

をはじめ、まだまだ課題は山積みです。しかし、先生が一番気になったことは、“メンタル面”です。試合中の、“ここ一番!”という場面で、必ずと言っていいほど、“消極的なミス”が起きました。負けたら終わりのトーナメント戦では、“メンタル面の弱さ”が命取りになります。では、どうやったらメンタルを強くすることができるか???単純で簡単なことです。練習の質を高めていくしかありません。まだ間に合います。

## 【協力と支え】

2日目の最後にも話をしましたが、今回のハーベストカップを開催するにあたり、たくさんの人の協力・支えがあったことを、忘れないようにしましょう。みんながあなたたちの頑張りを認め、応援してくれているのです。



## 【保護者の皆さんへ】

2日間にわたり、車での送迎・朝早くからの弁当作り・応援等、ご協力ありがとうございました。総合11位と過去最高(今年は学校行事のため不参加の学校が多かったですが・・・)の結果を収めることができたことも収穫ですが、子どもたちにとっては結果以上に、いろいろなことを感じ・考えることのできる2日間になったかと思います。今後に向けて、とても貴重な経験をし、大きな財産を得ることができました。我々、東中学校にとっては、まさに『ハーベスト(収穫)カップ』になりました。子どもたちには今の気持ち・今回の経験を忘れずに、今後も取り組んでほしいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

